

# VII 学習環境整備事業の概要

市民の学習活動の拠点となる市民館等の基盤整備を行なった。



## 1 教育文化会館・市民館運営審議会

1987（昭和62）年度まで1審議会ですべての視点による諮問事項について審議してきたが、1988（昭和63）年度から各館別に7審議会（1館 10名以内の委員を委嘱）が発足した。2012（平成24）年度も、それぞれの審議会が地域の諸問題にふれ、住民の学習要求に即応した活動及び運営がさらに豊かになることをねらいに開催した（任期2年の1年目・年4回開催）。

なお、2001（平成13）年度からは市民の参画を進めるために、各館の運営審議会に1名ずつ公募委員の枠が設けられた。公募にあたっては、市政だよりでの一斉広報だけでなく、各館だより、チラシなどでの広報を行っている

## 2 刊行・広報活動

市民館等の事業を市民に広報することは、単に参加者の募集のためだけでなく、市民館活動への理解を深め、生涯学習・社会教育に対する認知を広げる意味も大きい。教文だより、市民館だより、ホームページ、ポスターやチラシ、事業ごとの文集など、さまざまな媒体を活用している。

## 3 職員研修

市民の学習と活動を支援する職員の力量を形成し、施設としての機能と専門性を高めるため、教育委員会人材育成計画に基づき、職員研修を実施している。地域・市民のニーズを把握し、事業を企画・立案・実践する力、学びの機会や課題解決をさぐる方法を市民とともに考える力など、社会教育施設の職員として必要な能力をつけるとともに、新たな課題への対応を図るため、2012（平成24）年度も9コースの研修を実施した。

## 4 16ミリ映写機操作技術講習会

2012（平成24）年度は教育文化会館、中原市民館、麻生市民館で実施した。

## 5 視聴覚ライブラリー事業

市民館等で視聴覚ライブラリー機材・教材の貸出し事業を行った。





## Ⅶ 2 広報活動

教育文化会館だより・市民館だよりの発行一覧

教文	教育文化会館だより	年7回	各回	9,500部	
大師	プラザ大師インフォメーション	年7回	各回	9,500部	(教文だよりに併載)
田島	プラザ田島だより	年7回	各回	9,500部	(教文だよりに併載)
幸	幸市民館だより	年6回	各回	7,000部	
日吉	日吉分館だより	年6回	各回	7,000部	(幸市民館だよりに併載)
中原	中原市民館だより	年6回	各回	10,000部	
高津	高津市民館だより	年6回	各回	9,000部	
橘	プラザ橘だより	年5回	各回	3,500部	
宮前	宮前市民館だより	年7回	各回	8,500部	
菅生	菅生分館だより	年7回	各回	3,000部	
多摩	多摩市民館だより	年6回	各回	7,600部	(うち1回は子育て特集号)
麻生	麻生市民館だより	年6回	各回	8,000部	
岡上	岡上分館だより	年6回	各回	8,000部	(麻生市民館だよりに併載)

## Ⅶ 3 職員研修

研修名	対象	回数	趣旨
社会教育 初任者研修	社会教育・行政職員（新任・未経験）	6	社会教育初任者として必要な基本的知識や実践的能力を養う
	内容	延べ人数	116人
	①社会教育・生涯学習とは ②川崎の生涯学習・社会教育の目指すもの ③川崎市の人権施策と職員の役割 ～人権救済の現場から～（人権尊重研修と合同） ④市民対応の基本 ～接遇研修～ ⑤社会教育施設の課題と取り組み ～市民館・図書館・博物館の実像に迫る～ ⑥社会教育職員の役割		
研修名	対象	回数	趣旨
指導・経営研修	社会教育・行政職員（主任～課長・施設長）	1	職場集団をまとめ、指導、補佐する職員や施設を経営する職員として必要な能力を養う
	内容	延べ人数	13人
	いま、社会教育施設に求められるもの ～20.2中教審答申、3.11東日本大震災の教訓などを踏まえて～（課題研修と合同）		
研修名	対象	回数	趣旨
生涯学習研修	社会教育・行政職員、学校教職員、市民	2	社会教育施設職員として必要な生涯学習・学者融合に関する基本的な知識や実践的能力を養う
	内容	延べ人数	30人
	①行政職員のための生涯学習入門 ～生涯学習を通じた人材の育成と実態～ ②市民協働によるまちづくりと生涯学習		
研修名	対象	回数	趣旨
人権尊重研修	社会教育・行政職員、学校教職員、市民	2	教育職員として不可欠な人権に関する知識や感性を獲得し、基本的・実践的能力を養う
	内容	延べ人数	15人
	①川崎市の人権施策と職員の役割（初任者研修と合同） ②障がい者の地域での生活を理解する（課題研修と合同）		
研修名	対象	回数	趣旨
課題研修	社会教育・行政職員、学校教職員、市民	4	社会教育施における様々な課題についての問題意識・専門性を高めることを目的とする
	内容	延べ人数	26人
	①社会教育指導員の仕事を考える ～これまでの指導員研修報告書などを参考に～ ②障がい者の地域での生活を理解する（人権尊重研修と合同） ③私にとって社会教育とは ～先輩職員と社会教育の関わりの中から「社会教育」「社会教育事業」とは何かを考える ④いま、社会教育施設に求められるもの（指導・経営研修と合同）		
研修名	対象	回数	趣旨
自主グループ研修	社会教育（全施設）・行政職員	25	社会教育職員が、その専門的能力の向上を図るために、自ら研修を行うことを支援する
	内容	延べ人数	151人
	Aグループ：「市民館・生涯学習支援課事業の現在」 全9回 Bグループ：「市民館における地域課題の把握の仕方について」 全9回 Cグループ：「施設の枠を超えた事業立案について」 全8回		
研修名	対象	回数	趣旨
市民館基礎研修	市民館職員（新任・未経験）	7	市民館の役割や課題を理解し、基本的な業務に必要な実践的能力を養う
	内容	延べ人数	65人
	①オリエンテーション、市民館事業の意義 ②市民館事業の実際 ～事業の構成～ ③学級の企画・運営 ～学習計画の立て方（1）～ ④協働型事業における市民館職員の役割 ⑤学級の企画・運営 ～学習計画の立て方（2）各自のプログラムの検証～ ⑥実務に向けて ～学習したこと振り返り～ ⑦学習計画を考える ～自らが関わった学級などを改めて評価する～		

研修名	対 象	回数	趣 旨	
市民館基礎研修 PART II	市民館職員（2年目）	3	学級運営の能力を養うとともに、地域課題を 的確にとらえ、市民と協働して市民館事業を 進める力を培う	
	内 容		延べ人数	17人
	①1年目に関与した事業を振り返る ～これからの研修課題を探る～ ②先輩職員のノウハウから学ぶ（1）～学級運営・市民とのかかわり～ ③先輩職員のノウハウから学ぶ（2）～地域課題の把握～			
研修名	対 象	回数	趣 旨	
図書館職員研修	図書館職員・行政職員・学校図書館関 係職員	5	図書館の基本的業務に必要な実践的能力を養 う	
	内 容		延べ人数	119人
	①図書館初任者研修 ～図書館の業務の初歩～ ②経理事務研修 ～経理事務の基本と図書調達事務について～ ③レファレンス研修 ～初任者に向けたレファレンス（夏休み対策）～ ④本の修理を学ぶ ～本の構造を知る／本の修理について～ ⑤全体研修 ～新中原図書館の運営方針と館内見学～			
研修名	対 象	回数	趣 旨	
博物館職員研修	博物館職員・行政職員・学校教職員	1	博物館の役割や今日的課題を学び、業務に必 要な実践的能力を養う	
	内 容		延べ人数	27人
	指定管理者制度の導入に向けて ～円滑な博物館運営のために必要なこと～			

## Ⅶ 4 視聴覚ライブラリー事業（機材一覧）

（視聴覚教材利用状況）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
教育文化会館	貸出本数	3	5	12	13	27	1	8	4	10	7	1	4	95
	利用人数	81	181	252	2,789	2,354	50	607	89	754	38	8	248	7,451
幸市民館	貸出本数	1	4	5	3	5	3	0	0	3	1	5	0	30
	利用人数	0	2,400	28	810	515	25	0	0	120	0	200	0	4,098
中原市民館	貸出本数	0	14	5	7	1	1	7	4	2	5	0	5	51
	利用人数	0	160	40	3,500	55	30	427	39	1,218	410	0	250	6,129
高津市民館	貸出本数	0	0	6	15	0	0	6	1	0	0	1	6	35
	利用人数	0	0	330	2,691	0	0	290	0	0	0	20	320	3,651
宮前市民館	貸出本数	3	0	2	8	1	0	0	6	7	1	1	8	37
	利用人数	150	0	468	11,195	17	0	0	690	230	30	440	442	13,662
多摩市民館	貸出本数	1	1	8	13	14	4	5	5	15	0	6	9	81
	利用人数	16	12	68	5,114	2,842	104	47	220	564	0	171	149	9,307
麻生市民館	貸出本数	0	0	9	11	0	0	6	2	7	1	4	0	40
	利用人数	0	0	140	2,484	0	0	232	34	100	250	160	0	3,400
総合教育センター	貸出本数	2	7	1	89	2	15	7	8	2	6	3	5	147
	利用人数	85	2,240	25	13,140	651	237	301	2,154	0	905	126	24	19,888
合計	貸出本数	10	31	48	159	50	24	39	30	46	21	21	37	516
	利用人数	332	4,993	1,351	41,723	6,434	446	1,904	3,226	2,986	1,633	1,125	1,433	67,586

視聴覚ライブラリー機材・教材貸出事業

○機材一覧

	暗 幕	16 ミリ 映写 機	ス ラ イ ド 映 写 機	O H P	O H C	ビ デ オ ・ モ ニ タ ー	ス ク リ ー ン	液 晶 ビ デ オ 映 写 機※	ビ デ オ 編 集 機	ア ン プ
教育文化会館	20	3	2	3	1	1	3	2 (2)	0	1
幸市民館	26	2	0	1	1	1	3	2 (2)	0	1
中原市民館	20	1	1	1	1	1	2	1 (1)	0	0
高津市民館	20	2	2	2	0	1	0	2 (1)	1	1
宮前市民館	28	5	4	2	0	1	1	2 (1)	1	1
多摩市民館	7	1	1	1	0	1	1	1 (1)	1	2
麻生市民館	18	5	2	1	1	1	1	1 (1)	0	0
総合教育センター	90	7	5	2	2	1	2	3 (3)	0	1

（ ）はパソコン対応

○団体別利用状況（2012（平成24）年4月～2013（平成25）年3月）

団体 教材	市教委							幼稚園 学校							関係団体 社会教育							事業所						
	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生
暗幕	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	5	0	1	11	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0
16ミリ 映写機	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スライド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
OHP	2	1	0	0	0	0	15	1	0	0	2	0	0	0	9	0	0	0	0	0	8	3	0	0	0	0	0	0
ビデオ・ モニター	1	19	0	1	0	2	45	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	7	6	0	1	7	2	2	0
液晶ビデオ 映写機	15	33	0	53	2	17	45	6	4	3	13	1	3	2	44	2	11	8	1	3	15	51	0	24	26	3	28	2
ビデオ 編集機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	12	84	0	1	0	25	12	6	2	2	1	1	0	0	42	4	10	0	1	3	8	91	0	17	5	5	30	0

団体 教材	自治会 町内会							官公署							その他							計							総 計
	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	
暗幕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	8	4	0	0	7	1	0	19	7	0	0	15	1	9	51
16ミリ 映写機	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	1	0	4	0	9
スライド	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	9	0	1	30	2	0	0	10	0	2	30	2	1	0	45
OHP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	19	2	0	0	0	1	35	20	2	2	0	0	24	83
ビデオ・ モニター	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	29	36	38	78	42	37	92	36	55	39	89	44	44	138	445
液晶ビデオ 映写機	0	0	0	0	2	1	0	10	2	11	60	5	12	2	138	64	125	112	32	90	67	264	105	174	272	46	154	133	1148
ビデオ 編集機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	2	3	0	12	2	8	15	2	4	0	176	150	83	36	48	75	29	339	242	120	58	59	140	49	1007

## Ⅶ 5 16ミリ映写機操作技術講習会

会場	開催日	参加者	内容
教育文化会館	6月24日	7人	・映写機の原理と構造及び利用方法 ・映写機の操作実習 ・映画フィルムの取扱い方法 ・視聴覚ライブラリーの利用方法
中原市民館	6月3日	16人	
麻生市民館	6月10日	15人	



KAWASAKI CITY

川崎市

---

## 2012（平成24）年度 活動報告書

2013年4月1日発行

編集	川崎市教育文化会館	TEL 044-233-6361	FAX 044-244-2347
	川崎市幸市民館	TEL 044-541-3910	FAX 044-555-8224
	川崎市中原市民館	TEL 044-433-7773	FAX 044-430-0132
	川崎市高津市民館	TEL 044-814-7603	FAX 044-833-8175
	川崎市宮前市民館	TEL 044-888-3911	FAX 044-856-1436
	川崎市多摩市民館	TEL 044-935-3333	FAX 044-935-3398
	川崎市麻生市民館	TEL 044-951-1300	FAX 044-951-1650
	教育文化会館大師分館	TEL 044-266-3550	FAX 044-266-3554
	教育文化会館田島分館	TEL 044-333-9120	FAX 044-333-9770
	幸市民館日吉分館	TEL 044-587-1491	FAX 044-587-1494
	高津市民館橘分館	TEL 044-788-1531	FAX 044-788-5263
	宮前市民館菅生分館	TEL 044-977-4781	FAX 044-976-3450
	麻生市民館岡上分館	TEL 044-988-0268	FAX 044-986-0472
	発行	川崎市教育委員会	
印刷	(株)小笠原タイプ社	TEL 044-522-6057	FAX 044-555-6371

---



KAWASAKI CITY

川崎市